

がつこう

学校だより

よこはましりついだきた
横浜市立飯田北いちょう小学校
しょうがっこう
平成26年 9月号
8月29日発行

みのあき 実りの秋

朝晩は清々しい風が吹き、河原では薄が姿を現し、残暑が厳しいながらも、秋の気配を感じる頃となりました。飯田北いちょう小学校でも、長い夏休みが終わり、8月26日(火)から、夏休み明けの授業がスタートしました。長期の休みは、ついつい生活時間が夜型になり易く、生活リズムを戻すにも一苦労だと思います。子どもの健康という面からも「早寝・早起き・朝ごはん」に心がけ、充実した活動になるようご家庭でもご協力ををお願いいたします。



秋は気候も良く、読書やスポーツにも適していて、学習効果も高くなります。子どもたちが体調を整え、よりよい学習ができるよう連携していきましょう。9月25日(木)からは個人面談で子どもの様子もお伝えしていきます。



9月1日(月)の「防災の日」に防災総合訓練を行います。今年も、東日本大震災を教訓に、児童の安全確保を最優先に、避難訓練と施設点検を実施いたします。「防災の日」は1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災に因んだものです。過去の教訓を生かし災害への備えを怠らないように、普段から心がけたいと思っております。

9月15日(月)第3月曜日は「敬老の日」です。「敬老の日」は、国民の祝日に関する法律(祝日法)では、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としています。始まりは、兵庫県多可郡野間谷村の門脇政夫村長と山本明助役が「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、農閑期で気候も良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開きました。これが兵庫県全体で行われるようになり、後に全国に広がったそうです。その後「としより」という表現は良くないということで「老人の日」次いで「敬老の日」と改称され、国民の祝日になっています。



秋分の日



9月23日(金)は「秋分の日」です。秋分の日は、「昼と夜の長さが同じになる日」といわれていますが、実際は昼の方が長いようです。また、この日は秋のお彼岸で「祖先をうやまい、亡くなった人々を偲ぶ」ことを趣旨として、宗教や宗派を問わず墓参りをする人も多いようです。